

恋を手ばなす

あさだりん

絵・入村定子



しばらく見ないようにしようと思っていたのに、中庭で沙穂^{さほ}を待っているあいだあまりにひますぎて、ついインスタを開いてしまった。

タイムラインには、たくさんアイコンが並んでいる。ひまにまかせて、はじめから順にタップした。

『髪切った〜』『カラオケ最高!』『新作のフラベチーノ♡』そんな映像が流れては消えていく。(その前髪ピミョウだな)(わたしのいないところでカラオケ楽しみやがって)(この人昨日もフラベチーノ飲んでたよなあ、お金あるなあ)そんな本音は心の中でつぶやくだけにして、機械的に流し見していく。

ふと指をとめた。同じクラス^{まなみ}の愛美が、彼氏とふたりでポーズを決めている。ちょっと恥ずかしそうなピースサイ

ン。『Im on th』の文字が揺れている。

ストーリーには足跡がつくから、誰が見たかわかってしまう。早めに何かリアクションをしなくては。『おめでと〜』とだけコメントを送って、スマホを横に置いた。

「はあーあ」

わたしは両手で頭を抱えた。そうだよ。つきあって一カ月って、本当はこんなふうに幸せいっぱいのはずなんだ。やっぱりインスタを開かなければよかったなあ……。

「あれ、待ちくたびれて寝ちゃった?」

沙穂の声がする。

わたしはむくつと頭をおこした。

「寝てないよ」

「ごめんねー、委員会なかなか終わんなくて」